

# 全市大の友友諸君に訴える

国野  
5/21  
5/22

## 5/23 日教組スト連齋

## 23 狭山公判闘争勝利

## 新大管法攻撃戦線の下

# 統一学生会を成功させよう!

// 全市大の友友に訴える //

即座解散同盟を中心とした闘いの中で作られているといえ、これを更に「高裁段階での完全無罪判決」を勝ち取るべく、更に運動を発展させねばならない。

強まる政治・教育反動 // 日教組スト工量弾圧を許さず  
臨時措置法即時廃棄、狭山差別裁判反対の運動を!

政府自民党は、議会での反動諸立法(靖国神社法案 etc) 裁判所での反動的判決の強行、官憲一揆隊の労働運動への直接介入、フズコミによる反労働者の宣伝等々、全ゆる手段を利用して、民主運動、労働運動への弾圧攻撃を強めている。とりわけ、日教組-教育労働者に対する攻撃は露骨で、4-7/21の強制捜査、教員留置法活動規制法案の提出、教員人材確保法案、教員法制代法案の強行採決の動き、日教組幹部-青年量逮捕活動など、ますます強められている。同時に学生に対しては、今国会においては断念したもの、参院選後の臨時国会には、新柔道、①教員に対する規制、②内ゲバの予備弾圧、③大学の専任の明確化、を合せて「新大管管理法案」の上程を策定している。

一方、最終段階を迎えようとしている狭山差別裁判反対闘争は、重大な局面を迎えている。刑法改悪、公害訴訟への反動判決、労働適法闘争への有罪判決などの一連の司法の反動代の中で、狭山闘争も乗組を許さない情勢である。全体として、死刑判決、の容易に下せないだけの力関係。

学生工友-ストライキで、市大の統一した闘いを、更に組織強化を!

新しく、5/23狭山公判と相闘、日教組は、スト弾圧抗議、教員法制代法案採決をむかへ、5月23日、早朝1時向ストで闘おうとしている。我々学生の課題は、臨時措置法即時廃棄、新大管法制定運動新陣、狭山公判闘争勝利を掲げ、5/23に決起する日教組、解散同盟と連帯し、この闘いに、全学の大衆的統一戦力=全学学生工友、全学ストによる、合流することである。我々民学同は、23日全学スト実現に向け、クラス、学科、自治組織を中心とした、行製を許さぬ統一した運動の必勝請を訴える!! 5/20、21と行製学生は掲げられている中で、断固、統一学生会を要求する。

学生自治の5/20学生工友は、行製学生「わか派」の闘い、セクト主義をこぼさない!!

我々学生自治の行製主義、セクト主義はどこに理があるのか?! 5月21日学生工友会をめぐって掲げら

# 解散同盟をこぼさない

れていたにも関わらず、敢えて、5月20日に学生工  
言を提起していること。しかも議題は「大管 だけ」  
他は一切語られていない。その後、学生工言実行委員会  
は提起されたにも関わらず、会議にすら出席せず、何ら  
統一学生工言を推進する努力を行っていない。

更に、その呼びかけにおいて、「クラスから20の学生に  
結集しよう」と言われているが、彼らは、クラスから工  
業的な結集をはかるだけの基盤を全く平たえず、「学生共  
同」として、学生工言を提起している。これは、一党一  
派のセクト的な「学生工言の私物化、ひとりよがりにな  
くて向かおう!!」その証拠に、彼らは、彼らの学生工  
言に向けた実行委員会すら提起していない。

また、彼らは、政府の攻撃の中心環=大管法と語るの  
が、現在、もう一つの重大な政治課題として懸念され  
ている梁山差別裁判については、何ひとつ方針提議も  
なしていない。一回生をはじめ、多くのクラスで論議され  
ている梁山の真実を、一切無視している。

民主主義の指針=学生共同の諸君。君もまた、真  
に市工の工業運動を守り、新大管法新陣を闘う者である  
ならば、何れ学生工の乱発で、クラス学友を要用的混乱に  
巻き入るような手ぬは、即刻やめたまえ。

2/「学生工言のセクト的私物化を許さず、クラスか  
らの工業運動で、統一学生工言を成功させるか。」

5月21日に学生工言を提起している、NAC、EAC、  
文同連、全学斗、阻止委員の諸君は、日教組連帯の視察  
はてきつと、「大管法闘争新陣」「梁山公判闘争勝利」を  
スローガンに、形式的には、全学一致で学生工言を成功  
させようと、学生工言実行委員会を工業的に南進し、「学  
生共同」と比べると、積極的に統一の方向を打出してい  
るように見える。しかし、5月15日の学生工言実行委員  
会において、はくなくも暴露されたように、本陣には、  
「学生共同」と同様、クラス、自治組織からの工業運動  
を要視するところのセクト主義をあらわしている。

16日、学生工言実行委員会において、市工の工業運動の最上  
の権威たる工自治会の発言を認めないという意に出てき  
ている。更に、過去、市工での梁山闘争を文同連帯が先  
陣を担ってきた梁山実行委員の加入を拒否した。

11日、市工学生運動の統一をめぐって、今日の  
段階で、「統一議案書」を作成するに当たって、そのことに  
実質的には、彼ら以外の意見を認めず、議案書の提出の

自由を、他団体については認めないという、更に、議長団  
圍場についても、彼らにだけ担い、決議をあげて参加して  
来るクラスの学友を排除するという、露骨なセクト主義を  
前面に出している。

彼らは、クラス、学科、自治組織から工業的に結集して  
来ようとする学生を、実質的に、つるはしきにするこ  
とで、自らの入ゲモゴ一を覆蔽しようとして必死であり、  
その裏には、度々「工業蔑視」が言われている。スロー  
ガンにおいて、たなり積極的な内容をとちながら、このセクト主義  
的な彼らの対応は、市工の工業運動の発展にとって、きわ  
めて否定的な影響を与えている。

民主主義の学生諸君。

今こそ、統一と団結をつらねたまえ。政府立憲者の  
新大管法制定運動、検動隊の学内専入を常にうねない  
学生、教職員の諸権利の1つ奪を築き上げてきている。これ  
と闘つたて、我々学生の戦線統一は不可欠である。  
セクト的な諸党派のはねあかりに耐える最も有効な武器で  
あり、学生の運動の統一の保障は、そのさうなはねあかり  
を許さぬ、クラス、学科、自治組織を中心とした、工業  
的な討論、学習会を通じてゆらとらぬ意を統一の力である。  
民主主義学生同盟は、市工学生運動の統一と発展のために

常に闘って来た。今度も、工業的クラス、自治会運動の  
擁護と発展を努力する中で、そのために闘うことを宣言する。  
NAC、EAC、阻止委員、その他の諸君!! 学生工言のセ  
クト的私物化をやめ、結集する、クラス、諸団体に、議長書  
提出の自由を認めたまえ。民主的な学生工言運営の保障の  
ために、議長団参加を認めたまえ。

学生諸君。今こそ、クラス、自治組織から、工業的提議を  
2/統一学生工言を成功させるか。